

第 6 回
呉市・川尻町合併協議会
会 議 録

(平成15年7月16日)

呉市・川尻町合併協議会

第6回呉市・川尻町合併協議会会議録

と き 平成15年7月16日(水曜日)

ところ ビューポートくれ 3階 大ホール

出席委員

(呉市)

小笠原臣也
川崎初太郎
赤松俊彦
中田清和
下西幸雄
岩原 椋
石崎元成
岩城公順
梅河内秀登
馬場理子
平田久夫
森 政雄

(川尻町)

渡邊正弘
扇谷恒範
綿野成泰
三京玉男
大下淑光
倉田良美
花本康彦
河野温三
中舛京子
上治真一
北村正次
森川泰博

出席顧問

三上忠彦

説明員

芝山公英
佐々木 寛
歌田正己
藤吉悦男
前田幸治

会議に付した事件

(協議事項)

行政制度等に関する協議事項 (各種事務事業の取扱い)

[継続協議項目]

公共料金等の取扱い

- 協議第 19 号のうち 保育料
- 協議第 20 号のうち 介護保険料
- 協議第 21 号のうち 国民健康保険料
- 協議第 30 号のうち 水道料金
- 協議第 31 号のうち 下水道使用料ほか

市町村建設計画の作成に関する協議事項

[継続協議項目]

協議第 18 号 新市建設計画

午前 10 時 開 会

芝山事務局長 皆様、おはようございます。時間も参りましたので、間もなく本協議会を開会とさせていただきますと思います。

それでは、開会に先立ちまして、本協議会の会長でございます小笠原臣也呉市長よりごあいさついただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

小笠原会長 皆様方におかれましては大変お忙しい中、本協議会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は第 6 回目の協議ということになったわけですが、引き続き皆様方と一緒に新たなまちづくりに向け、誠心誠意協議を進めて参る所存でございます。

ところで、第 3 回協議会以降、住民生活に大変深いつながりがあります各種事務事業の取扱いにつきまして、鋭意協議を重ねて参っておりますけれども、本日は健康保険料や保育料、水道料金といった住民にとって最も身近なテーマでございます、いわゆる公共料金関係の協議に入らせていただくことになっております。

また、建設計画の作成に関します協議も大詰めを迎えているわけですが、いずれにいたしましても、よりよい計画を作成すべく協議をさらに進めて参りたいと思っておりますので、一層の御理解、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

芝山事務局長 ありがとうございます。

続きまして、本協議会の副会長でございます渡邊正弘川尻町長よりごあいさつをいただきたいと存じます。よろしく願いをいたします。

渡邊副会長 皆さん、おはようございます。

本日第 6 回ということでございまして、きょうの会議で主要な事業の協議がほぼ

終了するものと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

芝山事務局長 どうもありがとうございました。

それでは、これ以降の進行につきましては、小笠原会長にお願いいたしたいと存じます。

小笠原会長 それでは、ただいまから第6回呉市・川尻町合併協議会を開会いたします。

本日の会議録署名者として森委員と上治委員を指名いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

本日の議事に入ります。

前回の第5回協議会で提案申し上げました「公共料金等の取扱い」につきまして協議させていただきます。

事務局から本件の説明を願います。

佐々木事務局次長 それでは「第6回呉市・川尻町合併協議会協議事項」という資料を御覧いただきたいと思えます。

まず、1ページから7ページにかけまして、第1回から第5回までの本協議会で御協議いただきました内容の結果をまとめさせていただいております。この中の「調整方針」につきましては、合併協定書(案)として別途まとめさせていただくことになるものでございまして、この点御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、協議事項の8ページを開いていただきたいと思えます。

前回の第5回協議会で提案申し上げました、呉市と川尻町に差があります「公共料金等の取扱い」についてでございますが、協議第19号に関連します保育料、協議第20号に関連します介護保険料、それから協議第21号に関連します国民健康保険料、協議第30号に関連します水道料金、そして協議第31号に関連します下水道使用料等の取扱いにつきまして、右の調整方針のとおり提案させていただいたものでございます。この中身につきましては、呉市の基準または制度に統一するものとするということで、現在の呉市民と同じ料金、制度にしていく中で、新市の速やかなる一体性と住民の福祉向上を図って参りたいと考えているものでございまして、前回提案させていただいたところでございます。

また、前回御質問がありました、料金の統一に伴う影響額といえますか、新たな負担状況につきまして説明させていただきます。

まず、公共料金の中の保育料、介護保険料、国民健康保険料の統一に係る影響額についてでございますが、これらにつきましては前回ご説明いたしましたように、前年の世帯の収入等によりまして基本的に料金が決まってくるものでございます。また介護保険事業につきましては、法律により市町村の負担割合が決まっているものでございます。これらの財政への影響ということになりますと、合併後の保育所の運営、また介護保険事業や国民健康保険事業の運営に密接に関係してまいりますので、いろいろな影響はございますけれども、今回、料金を呉市の基準に統一することによりまして財政負担は、現在のところ特には発生しないものと考えているところでございます。

次に、影響の大きい上水道、下水道事業に係る料金、使用料についてございま

すが、水道料金では年額約6千万円程度、下水道使用料につきましては年額約3千万円程度と試算をしております。これらの料金調整に要する経費につきましては、新呉市において新たに負担する経費となるわけでございますけれども、現在の川尻町におかれましては基盤整備に対する取り組み姿勢や普及状況等、さらに新呉市の財政状況等を考慮した上で調整してきたものでございますので、この点御理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

小笠原会長 ただいまの説明に御質疑なり御意見があればお願ひいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 それでは、お諮りいたします。

本件につきましては、事務局案どおり決定させていただいてよろしゅうございませうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 ありがとうございます。

それでは、本件につきましては、委員の皆様のお承認をいただけたものとして決定させていただきます。

続きまして、継続協議案件でございます、協議第18号「新市建設計画について」を議題といたします。

事務局から説明を願ひます。

歌田企画調整課長 それでは、呉市・川尻町合併建設計画について御説明いたしますので資料をお願ひいたします。

この建設計画につきましては、前回第5回の協議会におきまして、全体計画について報告、提案させていただいたわけでございますが、その後、広島県に対しまして事前協議をさせていただきました。その結果、一部事業の追加、小仁方地区の急傾斜の崩壊対策事業でございますが、具体的には後ほど申し上げますが、そういう事業の追加指示もございました。また、文章の修正等もございましたので、これらの点につきまして、再度報告、提案申し上げます。

それでは、修正点を説明いたしますので資料の12ページをお願ひいたします。

まず1点目ですが、中ほどの大きな3番「呉市の役割」のところでございますが、修正点は2行目でございます。従前は「文化、都市的賑わいなどの機会を提供するため」とございましたが、今回修正を加えまして「サービス」ということを入れさせていただきました。「文化、都市的賑わいなどのサービスや機会を提供するため」とさせていただきます。

もう1点は、その2行後でございますが、従前は「保健所など中核市の機能を十分に生かし」とありましたものを、今回は「保健所などを有する中核都市の機能を十分に生かし」と、よりわかりやすくさせていただきます。

引き続きまして、16ページをお願いいたします。下の段の(3)番「保健・医療・福祉の機能強化」の欄でございます。この3行目「そのため、福祉意識の高揚を図るとともに」の次からでございますが、今回「老人保健福祉計画・介護保険事業計画」を入れさせていただいております。従前この老人保健福祉計画等は記述しておりませんでした。この両計画に基づき「保健・医療・介護サービスの充実や介護保険施設等の整備に努めます」と内容を肉づけさせていただきました。

そして、新規追加でございますが、17ページ中段「主要事業」の表の「防災対策事業」の欄でございます。ここの2段目の急傾斜地の整備（小仁方）でございますが、この事業を追加させていただきました。従前はございませんでした。これは県との事前協議により、県費補助事業の追加指示を受けまして、この項目を具体的に入れさせていただいております。これに基づきまして、後ほど御説明いたします呉市・川尻町財政計画につきましても、この事業に該当する事業費を追加させていただいておりますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、19ページをお願いいたします。19ページの3の(1)「既存産業の振興」の欄でございますが、下から3行目「さらには」のところでございます。実は、従前はここを「海底清掃の実施により」と記述しておりました。これを「海底堆積物の除去の実施」ということで書きかえさせていただいております。

それともう1点、(2)「観光の振興」の下から2行目でございます。「また」の欄でございますが、「呉市郷原町と野呂山を結ぶ」に続き、従前はここを「林道整備」としておりましたけれども、これを「ふるさと林道郷原野呂山線の整備を促進し」と、正式名に書きかえさせていただいております。

最後でございますが、20ページをお願いいたします。20ページの(3)「新産業の創出」でございます。この欄の上から7、8行目の、「このように」のところからでございますが、「新製品の開発、新規創業などをさらに支援するため」の次を、従前はポスト・インキュベーションという片仮名で、「ポスト・インキュベーション施設の整備を進め」と書いておりましたが、今回、正式な事業名「試作開発型事業促進施設（賃貸工場）」ということで、国の説明に合致するように書かせていただきました。これに伴いまして、下の「主要事業」の欄の一番下でございますが、ここも同じく「新産業創出事業」の欄を、「試作開発型事業促進施設（賃貸工場）の整備」と、このように書きかえさせていただきました。

以上が追加、修正の内容でございますが、これに伴いまして、次の資料でございます「呉市・川尻町財政計画」につきましても、先ほど17ページで説明いたしました急傾斜地の整備1件の追加指示を受けました関係上、事業費の修正をさせていただいております。

以上でございます。

小笠原会長 ただいまの説明につきまして、御質疑なり御意見があればお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 それでは、お諮りをいたします。

本件につきましては、委員の皆様の御承認をいただけたものとして決定させていただきます。よろしゅうございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 ありがとうございます。それでは、本建設計画は、今までは事前協議ということでしたが、合併特例法第5条第3項の規定によりまして、この案をもって知事に正式協議を行うということになるわけでございます。その点、御了解を賜りたいと思います。

以上で本日の協議事項はすべて終了いたしました。この際何か御意見等がございましたらお願いいたします。

渡邊副会長 その他ということで、3点ほどお願いしておきたいと思います。

まず第1点目でございますが、広域連携道路としての国道185号、呉 - 安浦間の早期事業化に向けての取り組みでございます。このことにつきましては、呉市を中心といたしまして、近隣町でこの3月に期成同盟会を結成し取り組みを進めているところでございますが、川尻町を含め地域の一体化を進めるという意義、あるいは混雑の解消ということ、これは川尻町から呉市へ出て行く場合、ラッシュ時等では1時間半、あるいはもっとかかるという実態がございます。そういったことの解消、あるいは危機管理という面から、川尻町には東西に抜ける道路は国道しかないわけでありまして、事故があつたりしますとどこへも逃げようがないという状況になります。危機管理という面からもぜひ必要な道路であるということでございますので、早期に実現するよう取り組みを強化していただきたいということをお願いしたいと思います。これがまず1点目でございます。

それから2点目でございますが、JRの機能強化についてでございます。現在呉線の広以東の駅につきましては、広島 - 広間の列車の3分の1しか運行していないというのが実情でございます。このことにつきましても、呉線複線化期成同盟会等が中心になってやっていただいておりますし、また呉市さん、あるいは我々川尻町においても、個別にいろいろJRに働きかけをしております。今回の建設計画等にもありますけれども、川尻駅周辺の整備、あるいは西港地区の整備とあわせて、パーク・アンド・ライドであるとか、あるいは駐車場、駐輪場の整備をすることによって、乗降客をふやしていくことも我々努力する必要があるわけでございますが、ぜひ住民の皆さんの利便性を高めるということで、今後ますます活動を展開していただきたいということが2点目でございます。

それから3点目でございますが、広報・広聴ということについてでございます。

前回の協議会におきまして、合併後の支所機能の充実ということについて御回答をいただき一応安心をしております。しかし、広報・広聴については任意の協議会でも申し上げたところですが、広報紙の充実、例えば地域版の発行、あるいは地域情報の掲載などいろいろ方法はあろうかと思っております。現在川尻町も広報紙については力を入れておりまして、広報紙の良さを残すということもぜひ検討していただき

たいと思っております。

また、合併によりまして地域が広がる中で、市長さんもなお一層お忙しくなることとは思いますが、住民と直接対話をしていただく機会をぜひ多く持っていただきますようお願いしたいと思います。直接市長さんとお話しすることによって、住民の皆さんが持っておられる不安、そういったものが解消できるのではないかと思いますので、地域の体制づくりも合わせて、市長さんにはぜひお願い申し上げたいと思っております。

以上3点、よろしく願いいたします。

小笠原会長 今3点御要望と申しますか、留意をする事項としてお話がありましたけれども、この機会にちょっと申し上げますと、国道185号バイパスの建設については一応地元の素案を作成しておりまして、これを県・国と協議をする段階でございます。先日も町長さんと一緒に休山新道の4車線化について、今の1つのトンネルでは1日3万9,000台も通って渋滞が非常に激しくなっておりますので、これを4車線化する、さらにそれにあわせて呉から安浦方面に向けてバイパスをつくってもらうという話をしてきたところでございますけれども、国の方は「財源が非常に厳しいけれども、課題として考えています」ということでございました。ただ、幸い県の方が非常に積極的でございます。県の方はできるだけ早く都市計画決定でもして、進められるところから進めていこうという姿勢を持っていただいておりますので、今後県とよく協議をしながら、国の直轄工事として早く着手してもらえよう努力していきたいと思っております。

それから、JR呉線の問題については、先日もJR呉線複線化期成同盟会を開かせていただいたところでございまして、その期成同盟会の決議で、呉駅以東の利便性の強化ということをお願いすることになっておりますけれども、先日たまたまJR西日本の支社長に観光の問題で急ぎよ要望しなければならないことがあったものですから、あわせてその点を要望してきたところなんです。そうしましたら、JRとしても今年呉線が開設100周年を迎えるわけで、この機会に何とか呉線に観光客を呼んできたいと。だから、まだこれは実現するかどうかわからないけれども、座席を海の方に全部向けて、ずっと海を見ながら走れるような列車を呉線に導入をしたいという考えも持っておるんだと。いずれにしても、地元の方でたくさんの人にJRを利用してもらえよう努力をしてもらいたいというような話もあったところでございますので、まず事務的にどういうダイヤ編成ができるか十分検討して、できるところからやっていただくようにしていきたいと思っております。

それから、3番目の広報・広聴の点については、私どもも十分御要望に沿うようにして参りたいと、広報あるいは広聴全般にわたって住民の声が反映できるようなやり方を強化していきたいと考えております。昨年は市制100周年ということでいろいろありましたので、ふれあいトークというのはほとんどできなかったんですが、合併していただいた地域は特に呉市の考え方を聞いていただかないといけませんし、これからまた、ふれあいトークというような形ででも広報・広聴を充実していきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。

そのほか何かございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小笠原会長 それでは、特に御意見がないようでございますので、閉会にさせていただきますたいと思いますが、閉会に当たりまして、中田委員並びに綿野委員から、それぞれごあいさつをいただきたいと思います。

中田委員 本日皆様には大変お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。きょうも熱心に協議いただきましたことを心から感謝いたしております。

2月4日に本協議会が発足いたしまして以来、本日まで皆様には本当に熱心に御協議をいただきまして、これから先は調印と、またお互いの議会の承認を得ることになるかと思えます。今までいろんな論議の中で、やはり市民、町民を中心に考えてきたわけでございますので、非常にすばらしい議論がなされ、調印への運びとなったと感じておりますが、今後いろんな細部にわたっての問題というのはやはりあるかなというような気がいたします。

しかしながら、やはり一番大事なことは、町民や市民の皆さんが合併してよかったなといつまでも思っていただけのような合併でなくてはいかんと。これから先、新しい呉市が誕生したとしましても、やはり基本は市民のために行政をやっていくということでございます。今までの長い歴史を尊重しながら、また文化を残しながら、新しい呉市の発展に向けて努力をしていくというのが議会や行政にかけられた責任だろうと、こういうふうに思うわけでございます。

本当に長い間、熱心な御論議いただきましてありがとうございます。おかげでいよいよ調印というところまで参りましたが、先ほどから申し上げますように、最後の最後まで、また新しい市になりましても、住民の幸せを考えながら一生懸命努力していきたいと思しますので、御協力のほどを重ねてお願いいたします。

簡単でございますが、閉会のごあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。

小笠原会長 どうもありがとうございました。

続きまして、綿野委員お願いします。

綿野委員 失礼します。

本日6回目の協議会が滞りなく終了いたしました。先程来、会長さん、副会長さん、そして呉市議長さんのあいさつの中で私も思っていた事をおっしゃられたので、これ以上言うことはございません。只々我々は、川尻町民が安心して呉市へ入っていけるよう、まず努力をしなくてはいけないなと思っております。今後ともよろしくお願いを申し上げまして、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

小笠原会長 どうもありがとうございました。

皆様方におかれましては、熱心に御協議をいただきまして、本当にありがとうございました。本日の協議会をもちまして、合併に係る協議事項は基本的にすべて協議をしていただいたことになるわけでございます。回を重ね、しかもかなり時間も要しましたけれども、委員の皆様様の御尽力に対しまして心よりお礼を申し上げます

とともに、引き続いてさらなる御支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、次回の協議会でございますが、先ほど御説明いたしましたとおり、広島県知事へ協議をいたします建設計画（案）に対する回答が、今月の末頃になるものと伺っております。したがって、この県知事からの回答及び協定書（案）の確認の場になるかと思いますが。第7回協議会は、7月29日火曜日午前10時より、呉市総合体育館・オークアリーナにおきまして開催させていただきたいと存じますので、よろしくをお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして第6回呉市・川尻町合併協議会を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

午前10時31分 閉会

以上、第6回呉市・川尻町合併協議会会議録の内容が正確であることを証明するためここに署名する。

呉市・川尻町合併協議会会長 小笠原 臣 也

呉市・川尻町合併協議会委員 森 政 雄

呉市・川尻町合併協議会委員 上 治 真 一